

妊娠高血圧症候群 (2018)

pregnancy-induced hypertension (PIH) →hypertensive disorders of pregnancy (HDP)

妊娠時に高血圧を認めた場合、妊娠高血圧症候群とする。

分類：

妊娠高血圧腎症, preeclampsia, PE,

妊娠 20 週以降に初めて高血圧を発症し、かつ、蛋白尿を伴うもので、分娩 12 週までに正常に復する場合。

妊娠高血圧, gestational hypertension, GH,

妊娠 20 週以降に初めて高血圧を発症し、分娩 12 週までに正常に復する場合で、かつ妊娠高血圧腎症の定義に当てはまらないもの。

加重型妊娠高血圧腎症, superimposed preeclampsia, SPE,

高血圧が妊娠前あるいは妊娠 20 週までに存在し、妊娠 20 週以降に蛋白尿、もしくは基礎疾患の無い肝腎機能障害、脳卒中、神経障害、血液凝固障害のいずれかを伴う場合。高血圧が妊娠前あるいは妊娠 20 週までに存在し、妊娠 20 週以降に子宮胎盤機能不全を伴う場合。

高血圧合併妊娠、chronic hypertension, CH,

高血圧が妊娠前あるいは妊娠 20 週までに存在し、加重型妊娠高血圧腎症を発症していない場合。

子癇：削除、

重症：

次のいずれかに該当するものを重症と規定する。なお、軽症という用語はハイリスクでない妊娠高血圧症候群と誤解されるため、原則用いない。

1. 妊娠高血圧・妊娠高血圧腎症・加重型妊娠高血圧腎症・高血圧合併妊娠において、血圧が次のいずれかに該当する場合。

収縮期血圧 160mmHg 以上、または、

拡張期血圧 110mmHg 以上。(高血圧 140/90 以上)

2. 妊娠高血圧腎症・加重型妊娠高血圧腎症において、母体の臓器障害または子宮胎盤機能不全を認める場合

。

蛋白尿の多寡による重症分類は行わない(蛋白尿 0.3g/日以上、2 g/日重症)。

発症時期による分類：

妊娠 34 週未満に発症するものは早発型 (early onset type : EO)、

妊娠 34 週以降に発症するものは遅発型 (late onset type : LO)、

重篤な合併症：

脳：子癇、脳出血、

肺：肺水腫、

肝：肝機能障害、HELLP、

腎：腎機能障害、

胎盤・胎児：常胎盤早期剥離、胎児発育不全、胎児機能不全、

背景：

糖尿病、高血圧、腎疾患、肥満、40 才以上、高血圧家族歴、双胎、初産婦、妊娠高血圧症候群既往妊娠、